

Chapter②ビジネスを促進する街としての進化

■ビジネス創造拠点「BASE Q」

「BASE Q」は、「優れた問いから、優れた答えが生まれる。」をコンセプトに、新たな価値の創出と社会課題の解決を目指して活動しています。

この1年間で数多くのイベントを開催し、世界の変革に取り組む挑戦者の想いを発信してきたほか、日本の大手企業を対象に提供している「イノベーション・ビルディングプログラム」も、多くの方々にご参加いただき、着実に前進しています。

2年目は、より具体的な成果を出していきたいと考えています。ぜひ、ご注目ください。

三井不動産 ベンチャー共創事業部 統括

BASE Q 運営責任者 光村圭一郎



■主な参加企業

・株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント



■「BASE Q」主なイベント実績

- ・DesignShip
～業界の壁を越えた、日本最大級のデザインカンファレンス～
- ・課題ラボ QROSS SESSION
- ・Smart Kitchen Summit Japan 2018
- ・NodeTokyo2018（国際ブロックチェーンカンファレンス）

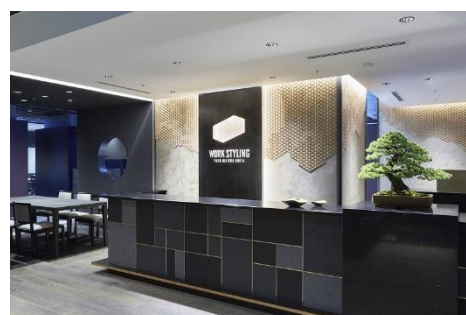
■ワークスタイリング東京ミッドタウン日比谷の開業

当社は、2017年4月より法人向け多拠点型シェアオフィス「ワークスタイリング」を全国35拠点に展開していますが、「ワークスタイリング東京ミッドタウン日比谷」は2018年11月にオープンしました。

現在、会員企業数は300社を超え、毎月延べ約5万人の会員様にご利用いただいております。2020年度中には50拠点を超える予定です。

ワークスタイリングは、法人向け多拠点型シェアオフィス「SHARE」、法人向けのフレキシブルなサービスオフィス「FLEX」、泊まれるワークスペース「STAY」と3つのサービスがありますが、本施設では「SHARE」と「FLEX」をご用意しています。

また、ワークスタイリングをオープンイノベーションの“場”として会員企業にご活用いただけるよう、会員同士のマッチングや会員企業コラボレーションを促すサービスも提供しており、本施設では、人と人をつなぐことを目的とした「ビジネススタイリスト」が常駐し、活動しています。



■入居テナントのコメント

「日比谷という街の利便性とオフィスの安心感は重要なポイントですね」

旭化成 総務部企画総務室 志田原周作 室長

東京ミッドタウン日比谷に本社を移転したことで、社員の働き方や生産性について、移転前より大きく前進できたという手ごたえがあります。

一つの例として、従業員のコミュニケーションの活性化を目的とした、「コネクトエリア」というスペースがあります。ほぼすべてのオフィスフロアに設置しており、エリア内に Surface Hub やビッグパッドなどの海外拠点等との会議も支援する ICT 機器を充実させたり、オフィスの一般什器とは異なるカフェ風の席やソファ席等も配置しました。同エリアは、個人で気分転換したり、従業員同士のリラックスしたコミュニケーションに積極的に活用されています。

日比谷という街にオフィスを構えることで大きく変わったと実感するのは、やはり利便性が良くなったことです。JR へのアクセスが近くなったので、新幹線を利用した出張には、非常に便利になりました。また、社外のお客様への来客用カードの貸し出し数も移転前の 2 倍弱に増えました。日比谷のランドマーク的なビルなので、お客様も気軽に来やすく、こちらとしてもお招きしやすい場所になっているのではないかと思います。

また、移転して感じますが「オフィスの安心感」も重要な評価ポイントですね。入居する日比谷三井タワーの耐震設計は最高クラスの S1 評価ですし、事業継続の点でいえば、非常時の発電設備があり、最低でも 72 時間の電源供給が可能ということなので、安心感は非常に強い、ハイスペックなビルだと思っています。

